

目録・奥書に見られる法勝寺

中根 千絵

はじめに

法勝寺は、宗派のない寺として平安時代から中世にかけて様々な機能を果たしてきた寺である。平安時代末の法勝寺の在り様については、これまで、論文で述べてきたので、繰り返さないが、法勝寺をとりまく各宗派の動向は、浄土信仰ひとつりあげてみても、天台宗のみならず、真言宗の側にも取り入れられていたのであり、世相に敏感な各宗派が似たような学問を形成しつつあったらしいことがうかがえる。また、栄西のような院と直接結び付いた僧が法勝寺と南都の寺院との両方に関わって活躍していたことも知られている。そうした学問上の、あるいは、政治上のネットワークの一つの要として法勝寺は存在していたのであり、その実態がいかなるものであったのか、残された文献から問うていくことは、極めて重要なことであろう。中世になると、法勝寺は、東大寺の宗性や台密穴太流の円観が大きく関わっていくことになるが、ここにも宗派を超えた面を見ることができると同時に、遁世と三昧流とが法勝寺の特徴として継承されていることが分かる。これについては、また、別稿で論じることにするが、中世の文献から平安時代の法勝寺の在り様を照射してみることで、また、新たな側面を見出だせるのではないかと考えている。法勝寺の全体像を再現した上で、『今昔物語集』との関係、往生伝との関係、『平家物語』の俊寛の位置付け、法勝寺での和歌の意味、『太平記』の卷十二の亡卒の怨霊の供養を行う法勝寺の位相を改めて考えたいと思っている。本論では、これまで、論文で取り上げ

ることのなかつた法勝寺に関わる目録及び、奥書も含め、全てを網羅的に示すことにする。

『昭和現存 天台書籍総合目録』法蔵館 渋谷亮泰編より抜粋。

〔宗要集案鎮〕

イ○〔内〕宗要相承口伝抄 ○六卷 ○大

○〔卷五奥〕建武二年（1335）三月：於洛陽法勝寺辺大柳之宿所：写了：景範

○永祿、元龜年間 於月山寺 伝海写 ○日光天海―一五

ロ○安鎮 ○六卷三冊 ○大

○〔奥〕恵心嫡流口筆海上房秘抄 建武二年：於洛陽法勝寺：書写畢：景範

○慶長九年 於横川 尊賢写 ○叡山天海

ニ○宗要相承口伝抄^{安鎮} ○七卷

○〔謂提卷奥〕恵心流口筆 海上房秘抄

〔卷五奥〕建武二年三月：於洛陽法勝寺辺大柳庵室令書写畢：景範

○寛永廿年隆見写 ○妙法院―三三

〔天台灌頂玄旨私見聞〕

○一卷 ○中 ○定巖説 吽鎮記

○〔奥〕上所記玄旨見聞者去康永元年（1342）五月十四日同十五日於相州大磯師 御坊所奉相伝趣与康永二年

九月十四日夜於同御坊所奉相伝趣：所記也：康永四年歳 次七月十三日 於法勝寺書之： 吽鎮歳四十二

師御物語云我是下総国匝嗟庄ノ内云：南条所者也 初於武蔵国深大寺信乃法印禅恵ノ所ニ学問シ後奉遇故定巖

法印於大事子□悉相伝学 今注云師者相 高来寺学頭 助律師嚴俊御事也

○文化二年 最空写 ○寛永寺

〔菩薩戒義記見聞〕

○〔内〕菩薩戒疏聞書 ○一卷 ○大 ○法勝寺上人談

○〔題下〕文和三年甲午（1354）九月廿三日 於宝所院止觀義之次法勝寺上人被談之

○文安三年（1446） 於普勸寺 了清写

裏八永享三年（1431）ノ曆

○正数蔵—戒—一

〔天台護律儀補助抄〕

○一卷 ○大

○〔奥〕曆応三年辰（1340）十月：於花洛東山法勝寺直賜御本：書写畢：惠生五十六—法四十二

〔題下〕普通撰山王院御将来但就當時見行敢加愚意耳

○永正元年（1504） 清超写 ⑨ 来迎寺

〔広布薩次第東山法勝寺〕

○一卷 魚山叢書七十五取

○〔奥〕右広布薩依大原私記為洛東法勝寺所用也 文龜三年（1503）七月：

○嘉永二年 ○勝林院

〔受戒作法〕

イ ○〔別〕 円頓菩薩戒儀

○一卷 衣鉢受持之次第下合本

○折 ○惠鎮記

○〔奧〕 此戒儀以古本為大概惟賢所受也 惠鎮 慈威 和尙 上人在生之時御益之處被載旨趣於始云乎…于時延文六年 辛丑 (1366)

1) 五月八日 於宝戒寺惟賢記之

○永正十一年 (1514) 法勝寺住持 周興写力 ○真如藏一弁

〔菩薩円頓授戒灌頂記〕

口 ○戒灌頂之記〔別〕 菩薩円頓授戒灌頂記 ○三軸 ○惟賢記

○〔奧〕 以上大概記之 猶納胸中深秘巨細非筆端之所顯矣…法勝寺…惟賢

○真如藏一弁 ○此書ノ序、跋 上杉著 日本天台史別冊収

〔法勝寺円戒灌頂内道場次第〕

○一卷 ○享保十六年 真際記 ○上杉著 日本天台史別冊収

〔法勝寺戒灌諸本目錄〕

○一卷 ○横 ○豪禪記

○〔奧〕 享保九 甲辰 (1724) 六月二十五日 豪禪 ○多紀

〔円頓菩薩戒儀〕

○一卷合本 ○横

○以豪建本 享保六年 豪禪写 ○多紀 ○法勝寺流

〔戒灌 取井華水法〕

○一卷合本 ○横

○〔奥〕德治二年(1307)八月二日以師御本書写

明応六年(1497)六月：於宝戒寺：昌俊

○豪禪写 ○多紀 ○法勝寺流

〔取水前 授菩薩戒儀〕

○一卷 ○横 ○豪禪記 ○多紀 ○法勝寺流

〔授戒作法〕

○一卷 ○横 ○真秀記 ○多紀 ○法勝寺流

〔重授戒私記〕

○一卷 ○横 ○豪禪記 ○多紀 ○法勝寺流

〔重授戒私記〕

○一卷 ○横

○「奥」右私記者実俊所集諸本之中此記最可也
○豪禪写 ○多紀 ○法勝寺流

「重授灌頂私記」

○一卷合本 ○横 ○豪禪写 ○多紀 ○法勝寺流

「戒灌伝授次第」

○一卷 ○横 ○竹林院 元超記 ○豪禪写 ○多紀 ○法勝寺流

「戒灌正覺壇作法」

イ○一卷合本 ○横

○「奥」件大事以此本奉授存海上人訖

永正十一年（1514）十月廿八日：周興

○豪禪写 ○多紀 ○法勝寺流

「戒灌 瓶加持作法」

○一卷 ○横 ○豪禪記 ○多紀 ○法勝寺流

「法流相承兩門訴陳記」

付、太平記拔書

イ○一卷 ○大 ○慶読聚集 ○宝徳二年（1450）源英写 ○来迎寺

○元応寺。法勝寺兩流正潤ノ争。貞和五年（1349）…文安四年（1447）迄ノ記録集
口○大 ○新写 ○正大—一〇三三—八一

〔法勝寺戒和尚勘例等〕

○一卷 ○中 ○叡山 ○歷代譜及元祿四年（1691）…享和迄諸記

〔灌頂道場莊嚴記穴太流〕

○一卷 ○大 ○紹空記

○〔奥〕右此御本者法勝寺住持紹空和尚御上洛之時書下被申候

○文化七年 真超写 ○無動寺—華

〔灌頂私記〕

○一軸

○〔奥〕承元三年（1209）…賜円光坊僧都御本於法勝寺僧坊書写了 真昭 後日尋申云 此記於或所見之 法曼院法印記云 則大治年中々無障々記 相当之歟如何 御答云サモアルラム 但若大治等奥書ハ堺上ノ私云等歟 此本爰嚴範阿闍梨歟 是則清涼坊流離作業合行灌頂法也下知タル他云 真昭記

天正四年丙子（1576）…良承

慶長十一曆二月…豪盛僧正書写畢

○円融藏—灌頂—三

（参考）嚴範撰

〔自在金剛集〕 離作業私記 一卷

敬範房亦号二智光園梨下一
鷄足有前本後本ノ両本一

〔十八契印〕

イ〇一卷 〇軸

〇〔奥書〕 治曆四年（1068）七月一日於実相房奉受了 覚猷記…奥書五略…

〔奥〕 享祿五壬辰（1532）二月…写…良賢△真超云 恐弘法大師

〇円融藏—密—

ロ〇十八契印大事 〇軸 〇天文五年（1536）於白川法勝寺周見写 〇来迎寺

ハ〇大 〇享和二年 真超写 〇無動寺—願

〔三陸抄〕

イ〇三卷 〇中

〇〔奥〕 嘉承元年（1106）六月一日於法勝寺之砌抄記之

〇元文五年 良湛写 ⑨ 大林院

ハ〇〔別〕 三陸秘抄 〇三卷一冊卷一兩力 〇大 〇長実記慶嚴ノ弟子

〇〔扉〕 目錄云。三陸抄四帖法勝寺長実三昧述云。上卷布列供具云。此ノ前可十八道事記尚第一張云。如前釈之言。後來君子以余本校。又云阿婆縛抄所引三陸文下同。

〇宝曆十年 実・写 〇南溪藏—地

ホ〇三六抄 〇一卷 〇大 〇觀性法橋記慈鎮ノ弟子

〇〔奥〕 □承元年六月…於法勝寺之砌抄記之 〇明和三年 慧航写 〇西教寺

へ〇十八契印類聚秘抄 〇四卷 〇中 〇長実集

〇〔奥〕^マ寿永元年六月…法勝寺之砌抄記之 〇寛政十年 観亮写 〇日光文庫

ト〇十八契次第類聚秘抄 〇一卷 〇大 〇観性法橋記

〇〔奥〕嘉承元年六月…於法勝寺…記之

〇享和元年 善寂写 〇薬樹院

リ〇十八道類聚鈔 〇四卷 〇大 〇長実集

〇〔卷二奥〕大原長宴ノ弟子法勝寺三昧僧長実集之

〇享和元年 善寂写 〇生源寺

(参考) 長実撰

(台祖密目) 十八道生疑 長実三昧は内題ナリ。外題三陸。常云三陸抄是也

(台祖密目) 生疑四 長実三昧は内題也外題三陸ト書ク〇長実ハ法勝寺三昧僧也〇三陸抄。秘云。今調為三卷ニ無三卷内題等。卷来云。嘉承元年々々々於法勝寺之砌抄記之云々。故知長実三昧之所レ記之本也。アサハ抄所レ引今此三卷之本文ナリ。

(龍堂録) 十八道生起四卷 別ニ云三陸抄

(密乘撰目) 十八道生起四卷 長実三昧記也。法勝寺三昧ノ僧也。外題云。三陸抄云云

(自在金剛集) 十八道生起 四卷 題ス三陸抄ト。長実三昧ノ記以テニ発心修行菩提涅槃ヲ為ニス卷別之標ト

〔北斗曜宿探要秘抄〕 草案也
可再治之

〇一帖

〇〔奥〕嘉承元年(1106)十二月□於法勝之砌一為愚昧入室聊抄レ之而已… 〇東寺一八九

〔大黒天飛磔秘法〕

○一卷 ○折

○〔表〕亮運之 弘運

〔奥〕元応元年（1319）六月一日於黒谷口伝畢 天台光

貞和二年（1346）正月十九日於法勝寺書写畢

○貞和年 弘運写 ○成菩提院

〔新仏開眼作法口伝〕

○一卷 ○横 ○法勝寺 慈威和尚撰 奉後醍醐帝

○安永四年 亮中写 ○五智院

〔曼荼羅供導師用心〕

○一卷 ○横

○〔奥〕観心二年辛卯（1351）八月六日於花洛法勝寺書写畢 心空十三歳△

○編者蔵

〔梵網經十重禁〕

○一軸 ○賢証記

○〔奥〕貞和二年丙戌（1346）於大原来迎院之報恩院誂九枝私為聞書中聞略頌入之乃至口伝写之

…賢証

本云 嘉曆元年（1326）八月六日以古博士為指南私付之自由之至雖有其憚師匠之貴命付之者也
淵譽

于時貞和二年丙戌於大原来迎院北三昧堂戒品伝受之時賜律、上人御本書寫之了此略頌法勝寺円觀上人草也博士故教雲上人在世之時与律、上人相談被付レ之云来迎院現受用所略頌惠心作云。为天台学者円頓戒法本以法相宗名目被レ仰レ之条尤不レ審也トテ今円觀上人以天台名目八経戒略頌結レ之云此等条戒品伝受口伝也 少々声等 賢証

○円融藏—装束

〔円頓宝戒寺血脈 法勝寺血脈 成就寺血脈〕

○〔内〕天台円頓妙戒都鄙代々住持次第 ○一卷 ○大 ○元応寺 昌俊記

○〔扉〕明応七年（1498）十月…書記之 昌俊

○乘盛写 ○来迎寺 編者藏新

〔供養式最勝寺供養式等〕

イ○一卷 ○大 ○元禄十四年 実観写 ○真如藏—九

○最勝寺元永元年（1118）成勝寺保延五年（1139）得長寿院長承元年（1132）法勝寺承保四年（1077）等

〔法勝寺金堂造営記〕

○一卷

○〔初〕承保二年（1075）六月…

〔奥〕右通言記一冊。元禄癸酉（六年—1693）夏。佐々宗淳於三京都。以三油小路殿藏本一写レ之。今合為三諸寺供養類記

○続群—二七上

〔法勝寺阿弥陀堂造立日時定記〕

○一卷 ○通言記

○〔初〕承保三年（1076）五月… ○続群—二七上

〔法勝寺供養次第承保四年（1077）十二月〕

○一卷魚山叢書—意三取 ○勝林院

〔法勝寺供養記〕

○一卷 ○群書 ○承暦元年（1077）十二月 導師覺尋

〔承暦元年法勝寺供養記〕

○一卷 ○続群—二七上

〔法勝寺供養記承暦元年〕

○一卷魚山叢書—意四取 ○勝林院

〔建武二年中堂本尊安置記〕

イ〇一卷 〇軸 〇惠鎮記

〇〔奥〕建武二年（1335）十二月十日記之納其箱底了法勝寺沙門 惠鎮記之 〇正本 〇円融藏―山門

ロ〇山門根本中堂本尊之事 〇軸 〇文政七年 豪実写 〇無動寺―辰

〔四箇寺由来 洛陽法勝寺 元心寺 台麓西教寺 米迎寺〕

〇一卷 〇大

〇〔奥〕元禄改元 戊辰（1688）十一月廿三日東叡山江遣之 東執西行光房改実 西執北正教房等運 川別 成 藤本房

円具 〇無動寺―戌

〔法勝寺勸進帳〕

〇一軸

〇東山法勝寺精舎建立…

〔奥〕天文五年（1536）十月日△ 〇来迎寺

〔ア字観〕

ロ〇法勝寺天海僧正蔵（無題） 〇軸

〇〔奥〕正和五年 丙辰（1316）五月…書写

〇元和六年 天尊上人写 〇叡山―奥

『青蓮院門跡吉水藏聖教目錄』より抜粋。

「支度案」

○平安時代院政期写、折本装、前欠、斐紙 縦一四・八糎、横一三・八糎、四紙、無界、表紙欠、訓点ナシ、外題・内題・尾題ナシ、

(書出) 註進地天供七ヶ日支度

(第一通奥書) 右、／ 年 月 日 / 法勝寺九重御塔心柱被改御祈也 / 左少弁朝隆奉行

(第二通本奥書) 右、／ 治(曆)四年九月二日權律師大原

「法花法日記」

○鎌倉時代中期写、卷子本、楮紙、縦二二・三糎、一紙長三六・六糎、全長三二六・八糎、九紙、無界、訓点ナシ、片仮名交リ文ヲ含ム、尾題ナシ、

(端裏外題) 法花法日記

(内題) 法華法日記元承久二年

(奥書) □□ニカ年五月十五日粗記之

只今記之間十五日午刻法勝寺九重塔為雷火俄以炎上 / 京中騒動為法頗以不吉歟

周章之間紙筆之抛

『尾張史料七寺一切經目錄』より抜粹。

① 甲復二函、『禪秘要經』卷第一（卷第四）

（奥書）依レ無尾張於清水寺以法勝寺本一書写之。重加校レ之。凶慶「一校了」

『禪秘要經』卷第一

治承三年己亥八月六日於京清水寺書写畢 筆師 境砂房於清水寺以法勝寺本一校了 凶慶

② 甲復十函、『貞元新定釈教目錄』卷第二十九

（識語）右点法勝寺金字經

③ 仏説『毘羅三昧經』卷上 七寺古逸經典研究叢書 第一卷（大東出版）

（奥書）於清水寺以法勝寺本一書写了 本文アリ。

加一校了 孤本

④ 『毘羅三昧經』卷下

（奥書）於清水寺以法勝寺本一書写了

⑤ 『阿毘曇經』卷第二十六

⑥ 『阿毘曇婆沙論』卷第62 66 70 72 76 79

⑦ 『雜阿毘曇心論』卷第10

⑧ 『四阿含暮抄解』卷下

「治承三年八月三日京清水寺書写畢以法勝寺一校了永芸」

⑨ 『統高僧伝』卷第十三

「治承三年大歲己亥八月二日書写畢」

「於清水寺以法勝寺本一校了」